



2026年3月31日

各 位

会 社 名 三菱マテリアル株式会社
代 表 者 名 執行役社長 田 中 徹 也
(コード番号 5711 東証プライム市場)
問 合 せ 先 I R 室 長 織 田 慎 介
(電 話 番 号 0 3 - 5 2 5 2 - 5 2 9 0)

ReElement Technologies Corp.の株式取得、および日米協業の覚書締結に関するお知らせ

当社は、中期経営戦略（2026～2028年度）において「資源循環ビジネスで未来を創る企業へ」という基本方針を掲げ、資源循環ビジネスを欧州、米国、アジアでグローバル展開を図るとともに、二次原料製錬への転換を推進しています。

この一環として、米国インディアナ州に本社を置き、レアアース等重要資源のリサイクル事業を行うReElement Technologies Corp.に対し、同社の優先株式を取得する形で出資するとともに、レアアース・レアメタルリサイクル分野における日米協業に関する覚書（MOU）を締結しましたので、お知らせいたします。

本件は、二次製錬事業のグローバル展開を加速するとともに、日本における新たな資源循環型事業の創出を視野に入れた戦略的投資となります。

詳細は、添付のプレスリリースをご参照ください。

以 上

ReElement Technologies Corp.の株式取得、および日米協業の覚書締結に関するお知らせ

三菱マテリアル株式会社(以下「当社」)は、米国インディアナ州に本社を置き、レアアース等重要鉱物資源のリサイクル事業を行う ReElement Technologies Corp. (以下「ReElement」)に対し、同社の優先株式を取得する形で出資(以下、「本出資」)するとともに、レアアース・レアメタルリサイクル分野における日米協業に関する覚書(MOU)を締結しましたので、お知らせいたします。

本件は、当社が中期経営戦略(2026~2028年度)に掲げる「資源循環ビジネスで未来を創る企業へ」という基本方針のもと、二次製錬事業のグローバル展開を加速するとともに、日本における新たな資源循環型事業の創出を視野に入れた戦略的投資となります。

記

1. 出資の背景・目的

レアアースやレアメタルは、電気自動車、再生可能エネルギー、半導体など、今後の成長産業を支える不可欠な素材であり、世界的に安定供給体制の構築が重要な課題となっています。各国においても、重要鉱物のサプライチェーン強靱化に向け、リサイクル分野への取り組みが進展しています。

ReElement は、リサイクルの中核となる分離精製工程において、独自のクロマトグラフィー技術を有しており、現在主流の溶媒抽出法と比べて、設備の小型化による建設費や運営費の大幅な削減に加え、有害な溶媒を使用しないことによる環境負荷低減(廃棄物・温室効果ガス・水使用量の低減)を実現できることが特長です。

同技術により、使用済み磁石や電池のようなスクラップに加え、天然鉱石や鉱山廃棄物(尾鉱)などの原料から、レアアースやレアメタルを高純度(99.5%以上)・高収率(95%以上)で回収することが可能となります。

当社は本出資を通じ、同技術を適用することで、北米における資源循環型サプライチェーンへの参画と、日本におけるレアアース・レアメタルリサイクル事業の事業化検討を同時に進め、資源循環のグローバル展開を加速させます。

2. 協業の内容

(1) 米国での協業

ReElement は、米国政府の支援のもと重要資源の域内サプライチェーン強化に向けた事業を推進しています。具体的には、米国インディアナ州のパイロット施設において、廃磁石等由来のレアアースのリサイクルの実証を行い既に技術を確立しており、本年中に同州に建設中の商業施設を稼働させる計画です。当社は、米国において製品のオフテイク、およびトーリング(原料を支給し分離精製を委託)を通じてサプライチェーンへの参画を図るとともに、E-Scrap等の原料調達面との相互補完的な連携を通じて、サプライチェーン構築の強化を目指します。

(2) 日本での協業

当社は、ReElement との日本におけるレアアース・レアメタルリサイクルの共同事業化を検討するため、共同でフィージビリティ・スタディ(FS)を実施します。

当社が家電・自動車リサイクル事業等で培ってきた前処理・金属回収技術や E-Scrap の原料集荷力と、ReElement の分離精製技術を融合させることで、将来的な共同事業(Joint Venture 設立を想定)の可能性を検討していきます。

3. 対象会社の概要

(1) 会社名	ReElement Technologies Corporation
(2) 所在地	12115 Visionary Way, Suite 174, Fishers, IN 46038, USA (Corporate Office)
(3) 代表者の氏名・役職	Mark Jensen (Chief Executive Officer)
(4) 事業内容	米国における重要資源の分離・精製事業を中核とする持株会社
(5) 設立	2020年6月
(6) 株主構成	創業者（経営陣）ならびに取締役・従業員：約 25% American Resources Corporation（元親会社）：約 17% その他株主（外部投資家等）：約 58%

4. エグゼクティブコメント

三菱マテリアル株式会社 執行役社長 田中 徹也：



「本出資は、当社が中期経営戦略において掲げる『資源循環ビジネスの高度化・グローバル展開』を米国および日本において具体的に推進するための重要な取り組みです。ReElement の独自の分離精製技術を活用し、北米における資源循環型サプライチェーンの構築を進めるとともに、日本での共同事業化に向けた FS を実施し、事業の具体化を加速してまいります。」

ReElement Technologies Corp. CEO Mark Jensen 氏：



「当社は、素材イノベーションおよび資源循環の分野で世界をリードする三菱マテリアル株式会社と提携できることを大変光栄に思います。同社のコミットメント、専門性、そして長期的なビジョンは、米国および同盟国における重要鉱物の安全で強靱なサプライチェーンの構築に向けた大きな前進となります。本協業を通じて、原料調達およびリサイクルにおける同社の強みと、スケーラブルで資本効率が高く、環境に配慮した方法で高純度材料を供給することを目的とした ReElement の精製ファースト・プラットフォームを組み合わせ、グローバルサプライチェーンにおける最重要課題の一つに対し、実務的かつ経済的に成立する解決策を前進させていきます。」

ReElement Technologies Corp. について

ReElement Technologies Corporation (ReElement) は、American Resources Corporation (NASDAQ: AREC) が少数持分を保有する持株会社であり、レアアース元素および重要鉱物向けの高性能な精製能力を提供するリーディングカンパニーです。ReElement の「精製ファースト」かつマルチミネラル・マルチフィードストックのプラットフォームは、永久磁石、リチウムイオン電池、産業・防衛・テクノロジー由来の廃棄物などのリサイクル材料に加え、鉱石、ブライン、石炭由来副産物など、幅広い原料を処理し、コスト効率と環境配慮を両立した循環型サプライチェーンを支える高純度製品へと転換できるよう設計されています。

ReElement の革新的で拡張性の高い「Powered by ReElement」プロセスは、同社が世界独占ライセンスを保有し社内開発した知的財産を活用し、パートナー各社の材料処理フローに直接組み込むことで、グローバルな重要鉱物サプライチェーン全体の効率性と適応力の向上に寄与します。

URL: <https://www.reelementtech.com>



2026年には大規模商業プラント「Marion Advanced Technology Center」が操業開始予定

(用語)

E-Scrap : 使用済みまたは不要になった電気・電子機器の中でも、特に有価金属を高濃度に含有する電子機器類の廃基板などの総称

以 上

<本件に関するお問い合わせ>

広報室 : TEL 03-5252-5206